

<概要版> 王子川水系 河川整備計画 (変更原案)

をとりまとめました。

南海本線下流を流れる王子川

王子川流域について

- 流域市町：高石市、泉大津市、和泉市
- 指定区間延長 王子川：959m、新王子川：531m
- 流域面積 王子川：1.80km²、新王子川：11.00 km²

- 王子川は主に特殊堤区間であり、単断面構造の河川である
- 新王子川は、府道泉大津美原線の道路下に敷設されたボックスカルバートの河川である



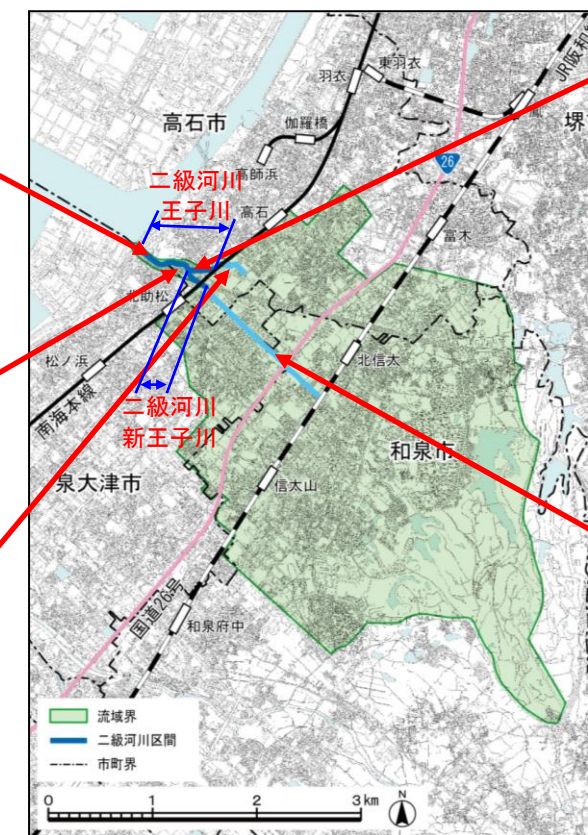
王子川防潮水門付近



新王子川合流点付近



王子川上流付近



新王子川合流点



王子川都市下水道

→ : 流れの方向

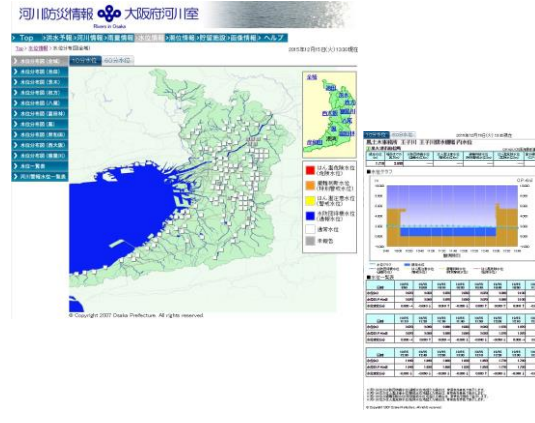
流域全体で実施する対策

「逃げる」ための…

情報伝達・避難
(情報提供の取り組み)



【大阪府 洪水リスク表示図】
<http://www.river.pref.osaka.jp/>



【大阪府 河川防災情報】
<http://www.osaka-kasen-portal.net/suibou/>

【気象庁】(出典:気象庁ホームページより)
<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

【国土交通省 防災情報提供センター】
<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/>
＜携帯サイト＞
<http://www.mlit.go.jp/saigai/bosaijoho/i-index.html>

【国土交通省 XバンドMPレーダ雨量情報】
<http://www.river.go.jp/xbandradar/index.html>
レーダによる降水状況などの情報を提供しています。

【おおさか防災ネット】
<http://www.cds.osaka-bousai.net/pref/index.html>
緊急情報、避難勧告・指示、地震津波情報などを提供しています。

防災情報を携帯電話で入手できます。

下のQRコードを携帯電話で読み込むか、下記アドレスを入力し、空メールを送信してください。

川の防災情報



雨雲の動きや全国の川の水位などの情報を携帯電話で入手できます。
<http://i.river.go.jp/>
直接アクセスしてください

大阪府河川情報



身近な河川の水位や雨量の情報を携帯電話で入手できます。
<http://www.cds.osaka-bousai.net/suibou/mobile/index.html>
直接アクセスしてください

防災情報メール



地域に発令された警報・注意報、避難勧告など、防災情報をメールで携帯にお知らせします。
touroku@osaka-bousai.net

地域や関係機関との連携

「防ぐ」

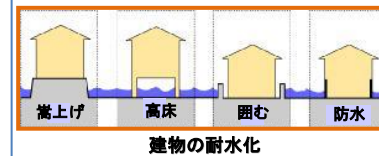
- 河川愛護活動への支援 (地域住民、NPO)
- 地域住民やNPO団体と河川環境の保全・再生・美化活動など連携した維持管理の実施
- 道路、公園、学校グラウンド等を利用した雨水貯留施設の設置 (施設管理者)

「凌ぐ」

- 住宅等の開発行為に伴う調整池の恒久化 (開発事業者)
- 農地・森林の保全 (水源涵養、保水機能)
- 各戸貯留施設の設置 (地域住民への啓発活動)
- 建物の耐水化、土地利用の誘導 (河川氾濫時、流水時)

「逃げる」

- 情報提供 (地域住民 高石市、泉大津市、和泉市)



王子川水系河川整備計画 (変更原案) の詳しい内容について知りたい方は

- (1) 以下のホームページに掲載しています。
 - ・大阪府河川室 (アドレス http://www.pref.osaka.jp/s_kasen/)
 - ・大阪府鳳土木事務所 (アドレス <http://www.pref.osaka.lg.jp/otori/news/>)
- (2) 以下の場所に資料を備えています。
 - ・大阪府府政情報センター (大阪府庁本館1階)
 - ・大阪府都市整備部河川室 (大阪府庁別館4階)
 - ・泉北府民センター (鳳土木事務所) ・高石市街路河川課
 - ・泉大津市危機管理課 ・和泉市道路河川室

閲覧と意見募集期間は、
12月3日(木)から
12月17日(木)まで

ご意見はこちらまで

《郵送・FAXの場合》
〒596-0076

大阪府堺市西区鳳東町4丁390-1 泉北府民センタービル内
大阪府鳳土木事務所河川砂防グループ あて
FAX 072-275-1588

《電子メールの場合》
メールアドレス

otorigoboku-07@gbox.pref.osaka.lg.jp
(大阪府鳳土木事務所河川砂防グループ あて)

いただいたご意見を踏まえ河川整備計画の対応方針の検討を進めてまいります。

大阪府の目標

将来目標「大阪府河川整備長期計画 H8.3 策定」

一生に一度経験するような大雨(時間雨量80ミリ程度)が降った場合でも、川があふれて、家が流され、人が亡くなるようなことをなくす。

- ・府管理河川全体で、目標達成に約1兆400億円、約50年必要
- ・治水施設で防げない洪水に対する総合的なリスク対策が必要

当面の治水目標「今後の治水対策の進め方 H22.6 策定」

【基本的な理念】人命を守ることを最優先とする。

【取組方針】

- (1) 現状での河川氾濫・浸水の危険性に対する府民の理解を促進する。
- (2) 「逃げる」「凌ぐ」施策を強化するとともに、「防ぐ」施設を着実に実施する。
- (3) 府民が対策の効果を実感できる期間(概ね10年)での実現可能な対策及び実施後の河川氾濫・浸水の危険性をわかりやすく提示する。

【当面の治水目標(今後20~30年)】

時間雨量50ミリ程度の降雨で床下浸水が発生させない。かつ、事業効率等を考慮し時間雨量65ミリもしくは時間雨量80ミリ程度の降雨で床上浸水が発生させない。

【河川情報の提供】

住民が的確に避難行動がとれるよう、河川氾濫や浸水に対する情報提供に努める。

- ※ 時間雨量50ミリ程度の降雨 : 10年に一度発生する恐れがある降雨
- 時間雨量65ミリ程度の降雨 : 30年に一度発生する恐れがある降雨
- 時間雨量80ミリ程度の降雨 : 100年に一度発生する恐れがある降雨

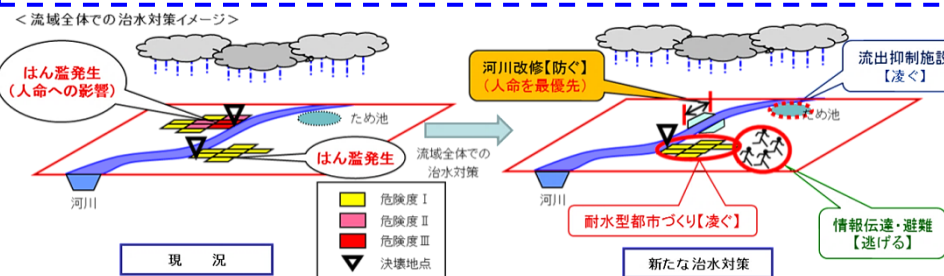
総合的・効果的な治水手法の組み合わせ

河川

治水施設の整備・保全(防ぐ) 河川堤防の決壊によるはん濫をできるだけ回避する等、河川を流れる水は可能な限りあふれさせない。(河川改修・堆積土砂除去など)

流域

- 流出抑制(凌ぐ)** 雨が降っても河川へ出る水量を減らす。(家庭での貯留施設の設置やため池の治水活用等)
- 耐水型都市づくり(凌ぐ)** 河川からあふれても被害が最小限となる街をつくる。(家屋の耐水化・高床化などの促進)
- 情報伝達・避難(逃げる)** 河川からあふれそうなときはできるだけ早く逃げる。(洪水はん濫・浸水による危険性の周知、避難体制づくりの促進等)



王子川水系の目標

時間雨量80ミリ程度の雨が降った場合



床上浸水以上の被害が想定されない

王子川水系では、現況河道で時間雨量50ミリ程度の降雨による洪水で浸水が想定されません。

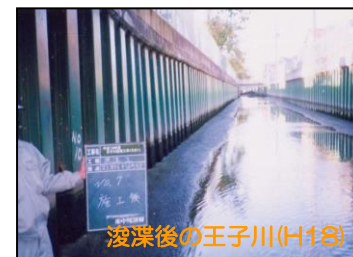
現状維持によって、時間雨量80ミリ程度の降雨による洪水で床上浸水を防ぐことができるため、50ミリ程度の降雨による対策を当面の治水目標とします。

現状の治水能力を維持

当面の治水目標を達成済

河川の維持管理

- 堤防および護岸等の河道管理施設の点検
- 点検結果に基づき必要な箇所においては、堆積土砂の除去や堤防及び護岸の補修
- 堆積土砂の除去については、臭気対策の観点からも、下水道管理者による都市下水路での取組みと連携して、必要に応じて実施



河川環境の整備と保全

現状の王子川で・・・

- 流域は、南東部の丘陵部を除き、ほとんどが市街化されており、自然な植生や生息動物はわずかである。
- 河口付近で海水の遡上に伴い多数のボウが確認されている。
- 王子川と新王子川の合流点付近では餌をとるサギ類が確認されている。
- 王子川河口から小高石橋にかけて多数のカメ(イシガメの一種)が確認されている。
- コンクリート三面張りの単断面構造であるが、既成市街地におけるオープンスペースとしての景観を有している。

河川整備(環境対策)

- 大阪府自然環境保全条例における河川の緑化基準に基づいた河川環境の整備に努める。
- 現在の景観の保全に努める。



「防ぐ」ための・・・

「南海トラフ巨大地震」の被害想定を踏まえ、耐震工事等を実施する必要がある王子川排水機場の耐震補強、耐津波対策を実施する必要がある王子川水門の津波波力への対策を実施していきま

現状の王子川で・・・

王子川水門

「L2(レベル2)津波により、部材等が流出する可能性がある」

王子川排水機場

「L2(レベル2)地震動による被災の可能性がある」

河川整備(地震・津波対策)

王子川水門

L2(レベル2)地震動に対して、水門としての機能を保持する性能を確保する

王子川排水機場

L2(レベル2)地震動に対して、排水機場としての機能を応急復旧により速やかに回復できる性能を確保する